

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	キッズポンド木曽川		公表日	2026年3月10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・十分な広さを確保しています。時間配慮等個々の児童発達支援が行える体制をとっています。	・広々としたスペースをうまく利用した支援や構造化を進めるとともに、日々の児童の行動観察に努めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・適切です。	・これからも継続して配置していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・訓練指導室からトイレまでバリアフリーになっています。また学習室は「静」の動き、活動室は「動」の場所と分かりやすく声かけをしています。	・学習室に行くのに2段の段差があるため、手を引いて降りると共に、こども達自身で足元を確認することや、段差を活かして昇り降りを繰り返して、運動の一貫にしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日支援後、掃除を欠かさず行い、空気清浄機を使用し、清潔な環境で過ごせるようにしています。	・これからも継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・必要に応じて、パーティションを用い、簡易的な個別な部屋を作ることも可能となっています。	・こどもの状況に合わせて、個室にできる職員室を可能としています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・休みの職員がいても、後日、振りかえられるように記録をとりファイルしています。 ・毎日のミーティングの中で職員全員に意見を聞き、こども達の様子を把握しています。	・これからも継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者様への評価表の配布のほか、ラインや電話での連絡をとっており、ニーズに応じた業務改善を行っています。 ・送迎の際にお話を聞き、職員間で共有しています。	・保護者様からの意見を把握し、これからも業務改善に取り組んでいます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎日、受け入れ前ミーティングを実施。支援終了後に気になる点を話し合いをしています。 ・職員会議を実施し、意見を出し合っています。	・これからも継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・外部評価は行なっておりませんが、市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れています。	・これからも市の福祉課や相談支援専門員の意見をいただき、業務改善に取り組んでいます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・本部研修・教室に顧問を招いての講習を定期的に実施しています。また、市役所等の研修にも参加しています。	・研修で学んだことを、普段の支援に活かせることができるよう努めています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・HPに公開しています。	・これからも継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・Vineland-IIを専門職員と実施し、こどもと保護者のニーズを取り入れ、支援会議を行い、専門職員のスーパーバイズを受けて、児童発達支援計画を作成しています。	・これからも継続していき、よりニーズや課題に合った児童発達支援計画ができるよう努めています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・作成するにあたって、職員で支援会議を行い、話し合いをしながら作成しています。その際にモニタリングの様子等、児発管から職員へ報告しています。	・小さな意見や疑問等も共有していきながら、ミーティングを行い、作成に繋がっていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・毎日のミーティングで支援内容を伝え、定期的にケース検討を実施し児童発達支援計画に沿った支援をしています。	・これからも継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・キッズポンドグループで、Vineland-IIやASISTを活用しています。	・アセスメントの記録や日々の記録等、職員全員が確認できるようにしていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・ガイドラインにそって、保護者様のニーズも取り入れ、こどもの状態や特性等に配慮し、分かりやすい具体的な支援内容で支援を行っています。	・具体的な支援内容を保護者様にもお伝えしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・活動・行事ミーティングでは、原案を持ち寄り職員のディスカッションで決定しています。	・これからも、今利用しているこども達全体を考慮しながら決定していきます。

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	・こども達の状況に合わせて、活動・行事を決めています。特に、季節行事を大切に他教室の行事等も参考にしながら、工夫しています。	・これからも継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	・個別活動には、保護者様のニーズを取り入れ、本児が楽しく参加出来るようにしています。また集団活動では、異年齢との関わりが持てるようにしています。	・これからも継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	・毎日、必ずミーティングを実施しています。ミーティングの中でその日の支援内容・こども達の様子を職員全員で周知しています。	・その日休みの職員も、後日確認できるようにしていき、連携して支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	・個人記録に残しながら、職員一人一人がその日のこども達の様子を報告し、共有し、次の支援に繋げています。	・これからも継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	・些細な事も記録に残し、支援の振り返りやケース検討時に活用し、支援・改善に繋げています。	・記録をとり、職員全体が見ることができるようになっています。
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	・モニタリング時以外にも見直しの必要がある場合には、保護者様と連絡をとり計画の見直しをしています。	・これからも継続していきます。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	・児発管が参画し、必要に応じて、担当者が同席するようにしています。	・これからも継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	・関係機関の助言を受けながら支援ができるようにしています。	・これからも継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	・関係機関と連携をとりながら情報共有、相互理解に努めています。	・これからも継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	・必要に応じて、児発管が中心となり、行っています。	・これからも継続していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	・公認心理師や言語聴覚士から助言を受けています。 ・専門機関と連携し、研修等にも参加し、最新の情報を取り入れる体制をつくっています。	・これからも継続していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	・児童館等との交流はないが、お出かけ先の施設に行った時、他のこども達と活動する機会を設けています。	・児童クラブや児童館との交流も取り入れられるよう努めています。
保護者へ	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	・小さな事でも連絡が取りやすいようにライン等でもつながり、その日の様子を伝えやすい環境を作ったり、保護者との面談を行ったりしてお互いに共通理解が持てるようにしています。	・これからも継続していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	・プログラムとしては行なっていませんが、個別の相談に応じています。	・ご希望に応じて、家族で参加できるプログラムや、保護者様にも参加いただける勉強会などを企画するか検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	・契約時に丁寧に説明しています。	・これからも継続していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	・保護者様の意向を中心に確認しています。	・これからも継続していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	・ガイドラインに基づき、保護者様のニーズも取り入れ児童発達支援計画を作成し、保護者様に分かりやすく説明し、同意を頂いています。	・これからも継続していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	・送迎時や、電話等でお話を聞いたり、面談を行ったり、時には訪問をして、お話をお伺いしています。	・これからも継続していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	・コロナ感染予防の観点から、行えずにいますが、児発管を中継とし、情報を共有しています。	・保護者様にご意見をいただき、開催するか検討していきます。

の 説 明 等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情があった場合には担当職員が、管理者・児発管に報告し、保護者様と面談するなど速やか且つ適切な対応をとっています。	・これからも継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月「キッズポンド通信」を発行し保護者様に配布、日々の活動の様子もFacebookにアップしています。翌月の行事予定も一緒に配布しています。連絡体制は、ラインを活用しています。	・これからも継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・書類は鍵付書庫で厳重に保管しています。HP上の写真には保護者様の同意を得た上で、モザイクをかけています。	・これからも継続していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・あいまいな表現は使わず、場合によっては視覚化して意思疎通を図っています。	・これからも継続していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	7	・地域住民が参加できるイベントは実施していませんが、今後、取り入れていきたいです。	・少しずつ招待して行う行事も検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・月一回、避難経路の確認、避難、防犯、動画鑑賞等で訓練を行い、教室内の掲示、契約時に説明しています。	・これからも継続していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・年1回以上の研修、命を守る訓練を行っています。	・これからも継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・定期薬については、保護者様との面談時に確認を行っている。てんかん発作等のある子どもについては対応等を保護者様に確認し、職員に周知し、ミーティングでも確認しています。	・これからも継続していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・保護者様が医師から受けた情報に基づいて対応しています。	・これからも継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画を作成し、年1回以上研修、実践訓練を行っています。	・これからも継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・取組内容を教室内に掲示で周知しています。	・これからも継続していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・事業所内だけでなく、グループ全体で共有しています。	・これからも継続していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・定期的な研修の中で、テーマとして取り上げています。	・これからも継続していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・基本的に身体拘束を行わずに支援を行う方針です。現在も事例はありません。	・これからも継続していきます。	